

# ベントグリーンを夏越しさせる9つのSTEP



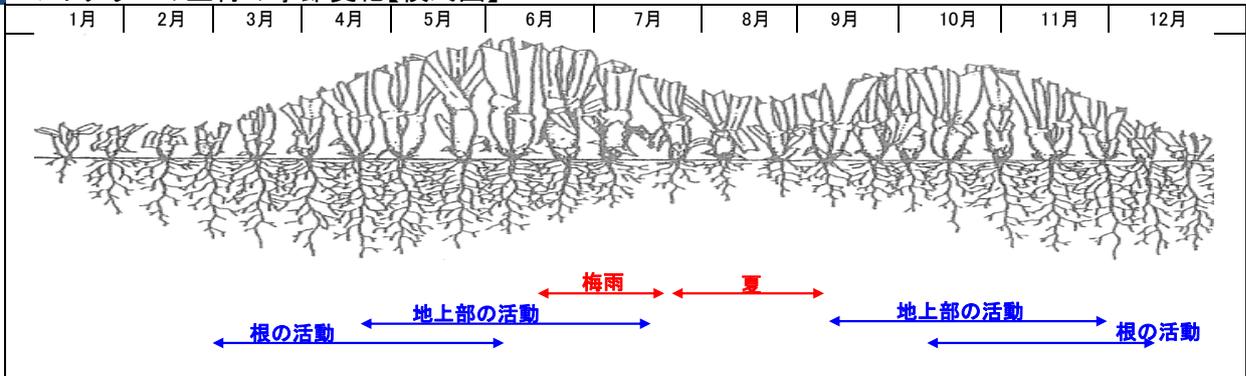
## STEP 0 【総説】 サマーディクラインのメカニズムと、9つのステップ

- ベントグリーンを夏越しさせるためには、まず夏に落ち込む仕組みを理解し、年間計画を立てて生育ステージに合わせた対応をすることが必要になります。

### ベントグラスの夏落ちのメカニズム

ベントグラスは、光合成で生産した炭水化物を使って、体の維持(呼吸)や生長を行います。すなわち、ベントグラスが生き延び、新しい根や葉を作るためには、炭水化物が必要です。生産された炭水化物のうち、呼吸や生長に使った余りは、貯蔵養分(非構造的炭水化物)として蓄積し、これが春秋の発根や萌芽の原動力になるとともに、一時的な炭水化物不足の時の備えになります。ところが高温時には、光合成低下、呼吸増大、根の機能低下により、貯蔵養分が消費され、やがては炭水化物が欠乏して根や葉が維持できなくなり、芝が痩せ、ターフが薄くなって行きます。そこに排水不良や病害などのストレスが加わると、さらに衰退が進みます。これがベントグラスのサマーディクライン(夏場の落ち込み)のメカニズムです。

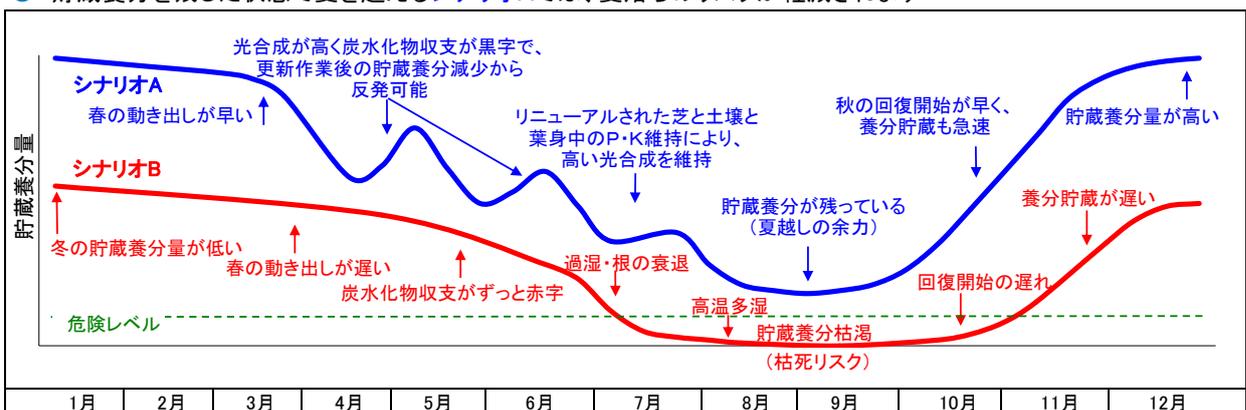
#### ベントグラスの生育の季節変化【模式図】



#### 貯蔵養分(非構造的炭水化物)の季節変化【模式図】

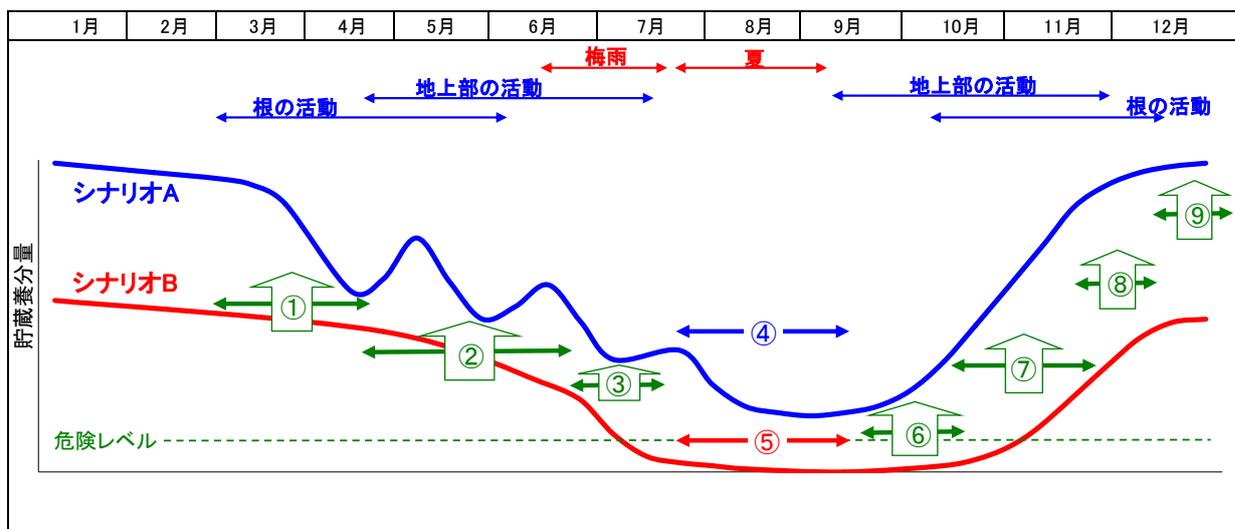
貯蔵養分(ベントグラスの場合はフルクタン)のレベルが、炭水化物収支の目安となります

- 夏に貯蔵養分が枯渇するシナリオBでは、夏に大きく落ち込むリスクが高く、秋の回復も遅い
- 貯蔵養分を残した状態で夏を越えるシナリオAでは、夏落ちのリスクが軽減されます



## 最悪のシナリオから脱出する、9つのステップ

ベントグラスの夏落ちを防ぎ、すばやく回復させるためには、各生育ステージごとに、貯蔵養分の減少を防ぎ蓄積を促進するような、年間管理手法が必要です。



落ち込みにつながるシナリオBを、夏越しが可能なシナリオAへと変える9つのステップは、季節とベントグラスの状態に応じて、次のようになります。(番号は上図の矢印①～⑨に対応)

- STEP 1 【早春】「春の一山」: 発根の促進と窒素による地上部刺激
- STEP 2 【春】「梅雨前に芝と土壌の若返り」: 更新作業と施肥
- STEP 3 【梅雨】「衰退を防ぎ、夏に備える」: 窒素と土壌のコントロール
- STEP 4 【夏・シナリオA】「夏と闘う」: 光合成と根活性の維持
- STEP 5 【夏・シナリオB】「弱りきったベントを守る」: ストレス軽減とサプリメント
- STEP 6 【初秋】「すばやい回復を促す」: 現状の見極めと対処
- STEP 7 【秋】「本格回復期」: 光合成・生長促進と土壌改善
- STEP 8 【晩秋】「晩秋期施肥」: 来年へ向けた養分貯蔵の促進
- STEP 9 【冬】「春を待つ」: ストレス耐性と葉色のアップ

※ 各ステップの具体的な対応策は、[弊社のホームページ](#)でご確認ください。

※ 「9つのステップ」を確実にこなすには、[葉身分析](#)による貯蔵養分や無機養分の確認をお奨めします。

### → STEP 1に進む

東洋グリーンはベントグリーンの夏越しを応援します



東洋グリーン株式会社

本社 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-33-8 浜町アクセス  
TEL 03-3249-7731 FAX 03-3249-7781

東日本営業部 TEL 03-3249-7735 大阪支店 TEL 078-903-6776  
名古屋支店 TEL 052-505-8880 九州支店 TEL 0942-43-7234

ホームページ <http://www.toyo-green.com/>

お問合せ [info@toyo-green.com](mailto:info@toyo-green.com)